

# La Remote USER MANUAL



https://www.youtube.com/watch?v=mL6PM2tTm3U&ab\_channel=TrinnovAudio Video



Contraction Contra T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp



Thank you for choosing Trinnov Audio !

**User Manual** 

Overview

Wiring Setup

Compatible software versions:

V3.8.x (ST2 Pro & MC PRO) :

Volume

Layers

Lighting adjustment:

Volume sensitivity adjustment:

V4.x usage (D-Mon, Altitude) :

Volume

**Configuration setup** 

Layers

Lighting adjustment

Volume sensitivity adjustment

Custom logo

**Backup & Restore** 

Talkback microphone

**Custom commands** 

Trinnov App support

**Troubleshooting** 

Mechanical specifications



. dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp



## Thank you for choosing Trinnov Audio !

このユニークなリモートコントローラーは、Trinnovプロセッサーの完璧なパートナーとなります。 複雑なセットアップにも対応し、8つのカスタムキーと無制限のレイヤーであなたのワークフローに即座にフィット します。

8つのカスタムキーと無制限のレイヤーで、複雑なセットアップにも対応します。 正確に調整されたレベルが常に表示されているので、常に一定の品質と信頼性を保つことができます。 この新しいコンパニオンは、聴力疲労からあなたを守ります。

## User Manual

このユーザーマニュアルの最新版は、Trinnovのウェブサイトから自由にダウンロードできます。 https://www.trinnov.com/

Copyright © 2020 by Trinnov Audio

すべての著作権は出版社に帰属します。ただし、批評の中での簡単な引用や、著作権法で認められているその 他の非商業的な使用の場合はこの限りではありません。許可を得るためには、出版社の住所に "Attention: Permissions Coordinator" 宛てに、下記の住所まで手紙を送ってください。

Trinnov Audio 5 rue Edmond Michelet. 93360 Neuilly Plaisance France



. dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp

安全に関する注意事項

本機の性能を十分に発揮させるために、このクイックスタートガイドに記載されている内容をよくお読みください。

- 本機をお使いになる前に、この説明書をよく読み、完全に理解してください。この説明書を保管してくだ さい。すべての指示に従ってください。
- 本機は、乾燥した平らな場所に設置してください。
- 本機は水に触れないようにしてください。本機を湿気、蒸気、煙、または過度の湿気や埃のある場所に 置かないでください。また、水滴や水しぶきがかかるような場所に本機を置かないでください。
- お手入れは乾いた布で拭いてください。溶剤系の液体クリーナーは使用しないでください。
- 最大限に許容される動作条件 0 °C~40 °C、相対湿度20~65%。 •
- ・ 機器のケースを開けたり、カバーパネルを外したりしないでください。本機にはユーザーが修理できる 部品はありません。

修理は必ず資格を持った人が行ってください。液体をこぼしたとき、雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しな いとき、落下させたときなど、何らかの原因で本機が損傷したときは、修理が必要です。承認されていないサー ビス/修理は保証を無効にします。本機をメーカーの許可なく変更・改造すると、保証が無効になる場合がありま す。

- 本機を使用する際は、メーカーが指定するアタッチメントやアクセサリーを使用してください。
- 本機は、プロオーディオ用のデジタル・コントロール・インターフェースで、USBスロットを備えたCE認定 のクラスBコンピュータで使用します。
- 本機は、ヨーロッパのCE規格に準拠するために、CEが承認したクラスBのコンピューターで使用する 必要があります。すべての接続ケーブルはシールドされている必要があります。
- また、本機に接続されているすべてのケーブルは、適切にアースされている必要があります。また、本 • 機に接続されたすべてのケーブルは適切にアースされている必要があります。





## Overview

La Remote には、メインボリュームビッグノブ、セレクトノブ、9つのボタン、そしてトー クバックマイクが内蔵されています。

ボリュームノブとミュートボタン(ライトグレー)の機能は固定です。これらは、アクティブ なスピーカーセットのボリュームとミュートを制御します。

それ以外のボタンはすべてカスタマイズ可能で、ユーザーが定義できる複数のレイ ヤーに渡って特定の機能を割り当てることができます。レイヤーを切り替えるには、右 上のSelectノブを使います。各ボタンの機能は画面に表示されます。また、ボタンの 機能に応じて、ボタンのバックライトがその状態を知らせてくれます。



## Wiring Setup

La Remoteは、以下のいずれかの方法で接続することができます。

- 付属のケーブルを使って、DAWコンピュータのUSBポート(キーボードやスクリーンに内蔵されたUSB ハブなど)に接続します。 ネットワーク経由で La Remote を Trinnov Processor に接続するには、無償提供されている "Trinnov App" が必要になります。現在はmacOS版のみの提供です。詳しくは「Trinnovアプリ」の項 を参照してください。
- Trinnovデバイスの前面または背面のUSBポートに直接接続することができます。 この方法は、DAWがシャットダウンされていたり、Trinnovアプリが起動されていない状態でも、リモート での作業を継続できるという利点があります。USB延長ケーブル(パッシブ)を使用すると、最大3mま で延長することができます。それ以上の距離が必要な場合は、「LINDY USB 2.0 CAT5 Extender」の ようなUSBエクステンダーを使用することができます。

外部電源は必要ありません。La RemoteはUSBバス電源を使用しています。USBハブやエクステンダーを使 用する場合は、デバイスの消費電流が最大200mAになることに留意してください。



T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspi.co.jp

-12.0 dB

Music Stem

PGI 5.1

Cal. Level Bypass Dim Next Spk

Mono Front



#### Compatible software versions:

ST2 PRO および MC PRO で、3.8ソフトウェアリリースを使用している場合は、無料のアップデートが必要で す。La Remoteを動作させるためには、ソフトウェアリリース 3.8.42 以上にアップデートする必要があります。 アップデートを進めるためには、営業担当者にお問い合わせください。

D-Mon および Altitude 製品のソフトウェアリリースが 4.2 の場合は、無料のアップデートが必要です。La Remoteを動作させるためには、D-Monではソフトウェアリリース 4.2.2.18 以上、Altitudeでは 4.2.17 以上に アップデートする必要があります。アップデートは、https://my.trinnov.audio アカウントに登録後、ご自身で行う ことができます。

Trinnovサポートチームは、<u>support@trinnov.com</u>でサポートを行っています。





## V3.8.x (ST2 Pro & MC PRO) :

#### **Volume**

画面の一番上のヘッダーには、常にマシンの現在の音量が表示されています。こ の音量には、DIMの状態が加算されています。

中央の大きなボリュームノブは、現在のスピーカーセットのボリュームを制御しま す。

左側のミュートボタンは、常に現在のスピーカーセットのミュートを行います。ミュー トすると赤で点灯します。

#### Layers

あらかじめ設定された固定レイヤーがいくつか用意されています。Trinnovソフトウェアでは、Trinnovマシンのパ ラメータを変更すること以外、これらのレイヤーを設定することはできません。レイヤーはマシンに応じて自動的 に調整されます。つまり、表示される機能はプリセットから別のものに自動的に変更されます。

以下のレイヤーが用意されています:

- Monitoring
- ・ 左側のボタンがコントロールするもの:
  - Bypass
  - Bass management 0
  - DRC 0
  - Dim 0

左側のボタン:

- ソース選択(設定により新しいページが作成されます)
- Meters
  - 0 Machine input level
  - Machine output level 0
- Speakers solo & mute .
  - Solo または Mute mode
  - スピーカーごとのアクティベーション。ソースで7つ以上のスピーカーが使用されている場合、 アクティベーションボタンはレイヤー(フロント、センター、フロントL/R、サラウンド、ハイト、サブ ウーファー)へのショートカットになります。
- Downmixes(設定により新しいページが作成されます) •
- Presets recall(設定により新しいページが作成されます。"built-in" は表示されません。プリセットには ディスプレイで読みやすい名前に設定してください)
- Profiles recall (MC のみ) 設定により新しいページが作成されます。
- Network
  - ∘ IP ≿ mask
  - Ethernet link status
  - 0 Service uplink connection status
  - Network mode 選択: DHCP または IPv4 192.168.1.5 で mask 255.255.255.0に固定 0
- Clock



T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspi.co.ip





Sync設定, external または internal のサンプリング周波数 0 NB: 全ての製品で 192kHz モードでは動作しない場合があります。お持ちの製品のマニュアルをご覧 ください。

- Optimizer
  - Acoustic correction, time alignment, delay alignment
  - Bypass
  - Remapping OFF, Auto, 2D, 3D

## Lighting adjustment:

画面の表示バックライトと、ボタン点灯時の輝度を調整することができます。Select ボタンを長押しして、ボタン を回してください。この照明輝度は、再起動後も保持されます。

## Volume sensitivity adjustment:

メインボリュームボタンの感度を調整できます。Mute ボタンを押した後に Select ボタンを押し続け、ボリューム ボタンを回します。このボリューム感度は、再起動後も保持されます。





: dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp

## V4.x usage (D-Mon, Altitude) :

<u>Volume</u>

0.0 dB	画面上部のヘッダーには、常に現在の音量が表示されています。 表示値は以下のように設定できます。
Presets	● 相刈的な尺皮でのる UB
Builtin	<ul> <li>キャリノレート後 Cのれは dB C</li> <li>シネマ スケール</li> </ul>
Builtin	メインのボリュームノブは、常に現在のスピーカーセットのボリュームをコントロールし
	ます。
	左側のミュートボタンは、常にスピーカー全体のミュートをコントロールします。ミュート
	になると赤く点灯します。

#### **Configuration setup**

La remote は、設定可能なデバイスです。以下の方法で Setupページを開いて設定を行います:

- "Trinnov App"を使って Control メニューで "La Remote setup" を選択する。
- Webブラウザで以下のURLにアクセスする http://<device?ip>/remote/setup.html

Functions		Global configuration
Bypass       +         Dim       +         Presets       >         Network       >         Downmix       >         Monitoring       >         Sources       >         Speaker Sets       >         Snapshots       >         Custom       +	Cal. Level       -000 cB       one         Bypass       -000 cB       -000 cB       one         Bass Mgmt       -000 cB       -000 cB       -000 cB       one         Dim       -000 cB       -000 cB       -000 cB       -000 cB       -000 cB       -000 cB         Dim       -000 cB       -000 cB <td< td=""><td>Lighting Buttons Screen Volume knob Sensitivity Sensitivity Sensitivity Sensitivity Sensitivity Meters Presens Snapshots Network Netwo</td></td<>	Lighting Buttons Screen Volume knob Sensitivity Sensitivity Sensitivity Sensitivity Sensitivity Meters Presens Snapshots Network Netwo

#### Layers

必要であればボタンのレイアウトを複数ページ作成することが可能です。この機能により、La Remoteの可能 性が大きく広がります。



: dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp



最初にデバイスを接続したとき、メインの調整用にデフォルトのレイヤーセットが作成されます。リセットボタンを 押すと、最初に作成されたレイヤーセットに戻すことができます。リセットボタンを押すと、現在の設定に合わせ て全く新しいレイヤーセットが自動的に生成されます。

レイヤーを表示、編集するには、右パネルにあるレイヤー名をクリックします。すると、中央のパネルに表示され ます。ダブルクリックすると名前を変更できます。下部のマイナスボタンをクリックするとレイヤーが削除され、プ ラスボタンをクリックすると空白のレイヤーが新規作成されます。

あるレイヤーのボタンにアクションを割り当てるには、ボタンの左側にある機能をドラッグ&ドロップしてください。



画面の中央部分(トップレベルとボタンアサインラベルの間)もカスタマイズ可能です。 以下のいずれかが選択できます:

Screen Function	詳細	使用できるマシン	スクリーンのサンプル
Meters	マシンの出力メーターを表示	all	
Current Preset	現在のPresetを表示	all	Presets Builtin
Network params	ネットワークIPとマスクを表示	all	Network DHCP:On IP: 192.168.1.16 Mask: 255.255.255.0
Current speaker set and source(s)	現在選択しているスピーカーセットと、現 在選択しているソースを表示します。複 数のソースが選択されている場合(Sum モード)、最初のソースの前に "+" が表 示されます。	D-Mon	Music Stem PSI 5.1



: dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp

Headphone Volume	ヘッドフォンソースとボリュームを表示します。セレクトボタンをクリックすると、 ヘッドフォンの音量が表示され、セレクト ノブでヘッドフォンのゲインを調整しま す。セレクトボタンを新たにクリックする と、セレクトノブの通常のレイヤースイッ チ機能に戻ります。	D-Mon	Headphone ProTools Headphone 3 dB
Speaker solo & mute	アクティブなスピーカーを表す小さなグ リッドを表示する(塗りつぶし)、または表 示しない(ボーダーのみ)。サブウー ファーには "S "が表示されます。	D-Mon	
<b>ப்பு</b> Snapshots	現在読み込まれているスナップショットが あれば、それを表示します。	D-Mon	Snapshots De <sup>r</sup> ault
Logo Custom Logo	ロゴを表示します。"Custom logo" を参 照してください。	all	-12.0 dB TRINNOV ProTools Sequoia Pyramix Nuendo Toggle Talkback Sum
Current Codec	現在使用しているCODECを表示します。	Altitude	
Network audio source	ネットワークDLNAやRoonで再生してい るコンテンツの情報を表示します。	Altitude, Amethyst	
Current profile/source	選択しているソースを表示します。	Altitude, Amethyst	

### Lighting adjustment

**%** 

ライト調整では、環境に応じて La Remote の見え方を細かく調整することができます。ボタンと画面のバックラ イトを別々にコントロールすることができます。



Contraction of the second state of the second T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp



#### Volume sensitivity adjustment

ボリュームノブの感度調整は、La Remoteのメインのノブの感触を細かく調整することができます。また、ボ リュームの移動を素早く行うための "accelerated enhancement" を有効にすることもできます。

#### **Custom logo**

128px/103pxのサイズのカスタムPNG画像をアップロードすることができます。この 画像は、"logo"機能が選択されているすべてのレイヤーに表示することができます。

ボタンのラベルにミュートをかけると、このロゴが大きく表示されるようにすることもでき ます。この機能を有効にするには、右パネルの "ad hoc" ボタンをチェックしてくださ い。



#### **Backup & Restore**

La Remote の設定は、自動的にTrinnovデバイスに保存されます。この設定をエクスポートすれば、後で再適 用したり、別のデバイスに適用することができます。なお、ロゴを設定している場合は、エクスポートされたファイ ルには含まれませんので、別途バックアップを取る必要があります。

#### Talkback microphone

トークバック用に内蔵マイクが用意されています。DAWに接続すると、La Remoteは自動的にマイク入力として 認識されます。この信号をモニタリングチェーンに転送することができます。Voicemeter( <u>https://vb-audio.com/Voicemeeter/index.htm</u>)のような補助ソフトウェアが、この作業に役立ちます。

#### **Custom commands**

トリノフ オプティマイザーのあらゆる内部機能にアクセスすることが可能です。高度な統合が必要な場合やカス タムニーズがある場合には、"one-button"のショートカットを構築することが可能です。

例えば、同じネットワーク上にある外部デバイスを統合し、以下のような構成でネットワークHTTP POSTリクエ ストを発行することができます。

Function	Custom	
Label	User	
Action path	/rest	
Action Type	String 🗸	
Action value	http://192.168.0.10/action.cgi?relay=1&state=on	
Busy Blinking		
	Slow Blinking	
	Apply Close	

なお、このようなカスタムリクエストに関して、Trinnovのサポートチーム(support@trinnov.com)に連絡する と、特定の料金が発生する場合がありますのでご注意ください。



T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspi.co.jp

## Trinnov App support

La RemoteをDAWに直接接続することが可能で す。La Remote は usb-midi と usb-audio 規格に 準拠しているため、ドライバーは必要ありません。

La Remoteを使用するには、バージョン3.1以降の Trinnov アプリが必要です。

最新バージョンは、<u>https://www.trinnov.com/</u>から ダウンロードできます。

	Gateway Status
Trinnov Machine	Connected to 807649
EUCON service	Service stopped
La Remote	rm-00002 connected to optimizer

接続が完了すると、"Trinnov App" のステータス ウィンドウが表示され、リモート接続が確認されます。

リモートセットアップウィンドウを開くには、"Control" メニューの ad hoc エントリを選択します。





T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp

## Troubleshooting

- ◆ Trinnovプロセッサーに直接接続しても La Remote 画面が "welcome" のまま変化しない。
  - ➤ ご使用のTrinnovデバイスが La Remote に対応するためには、デバイスのアップデートが必 要です。アップデートを行うためには、営業担当者にご連絡ください。
- ◆ 直接接続してもリモートデバイスが "initialization, please wait..."の画面の変化しない。
  - ➤ La Remoteは認識されていますが、致命的なエラーで初期化が完了していません。Trinnov プロセッサーの電源が入っていて、インターネットに接続していることを確認した後に、Trinnov サポートにご連絡してください。support@trinnov.com
- ◆ ボタンの組み合わせを設定したいが、setup.htmlにアクセスできない。
  - > カスタムボタンのマッピングは、Trinnovプロセッサーのソフトウェアバージョンが 4.x以上の場 合のみ可能です。
- ◆ ロゴをアップロードしたのですが、ロゴのある選択されたレイヤーがアクティブになると、ロゴではなく "logo not found" と表示される。
  - ➤ La Remoteのプラグを抜いて再度プラグを差し込むと、ロゴが転送されます。
- ◆ カスタムボタンで特定の機能 <xxx> を使用できるようにしたいが、その機能がセットアップページの使 用可能なものにない。
  - ➢ お使いのTrinnovプロセッサーのソフトウェアバージョンが 4.x の場合、この問題が発生する 可能性があります。お手数ですが、Trinnov サポートまでお問い合わせください。なお、このよ うな特定のインテグレーションのリクエストには、特定の料金がかかる場合があります。
- ◆ 特定のUSBケーブルを購入したのですが、La Remoteが認識されなかったり、動作が安定しません。
  - ➤ La Remoteは、USB規格1.1フルスピードモードに対応しており、ケーブルの長さは3m以下と なります。それ以上の長さが必要な場合は、前述の "Wiring Setup" で他の方法を選択してく ださい。 複数のUSB延長ケーブルを使用せず、1本のUSBケーブルを使用してください。
- ◆ コンピュータのキーボードにLa Remoteを直接接続したところ、消費電力が多いためにUSBが無効に なるという警告が出ました。
  - ➤ La Remote は最大200mAを必要とするため、キーボードと La Remote の合計消費量がパ ソコンのUSBポートの容量を超える可能性があります。一時的に La Remote をTrinnov プロ セッサに直接接続して、LEDの輝度を下げてください。また、電源付きのUSBハブをコン ピュータのキーボードの前に挿入して、コンピュータの内蔵電源の消費を助けることもできま す。



T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspi.co.ip



Mechanical specifications







measures are in millimeters, +/- 0.1



Contraction Contra T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp